

# 沖縄債権回収サービス 平良 孝夫 会長



たいら・たかお 1951年生まれ、宮古島市出身。新潟大学卒。沖縄信販取締役総務部長を経て、99年、沖縄債権回収サービス設立。常務、専務を経て2005年社長、17年から現職。

- ①人材は最大の経営資源！
- ②税理士塾
- ③麺類全般

「昨年を振り返って。サービス業を取り巻く環境は依然として厳しく、2018年12月期の業界全体の年間取扱高は前年同期比3・6%減の13兆9265億円となりました。減少傾向に歯止めが掛からず、

金融調子法に基づいた返済猶予を受けた企業の倒産が増え、不良債権処理の潜在的な需要は拡大すると予想しています。中小企業が出口の見えないまま返済猶予などの条件変更を繰り返すことは、真の経営改善につながらない。今後の業界の見通しは、

金調子法に基づいた返済猶予を受けた企業の倒産が増え、不良債権処理の潜在的な需要は拡大すると予想しています。中小企業が出口の見えないまま返済猶予などの条件変更を繰り返すことは、真の経営改善につながらない。今後の業界の見通しは、

「今年度の最大の施策は第6次中期経営計画の最終年度としての総仕上げと、新たな企業理念の周知徹底、浸透です。具体的には働き方改革、生産性革命、債権管理の高度化、ソリューションビジネスの拡大強化です。働き方改革では65歳定年制の実施、障がい者や高齢者雇用の推進、喫煙者・メタボ・ゼロに向けた取り組みです。生産性革命は異次元3S活動の定着化・進化を図り、デジタル推進グループを活性化します。異次元3S活動は整理・整頓・清掃を徹底する物理的3S、PDCAタイムの導入など業務の効率化、計画的な遂行による業務3S、データをルールに沿って保存し検索の容易性を高めるデータ3Sの三つがあります。ソリューションビジネスは今後

改革では65歳定年制の実施、障がい者や高齢者雇用の推進、喫煙者・メタボ・ゼロに向けた取り組みです。生産性革命は異次元3S活動の定着化・進化を図り、デジタル推進グループを活性化します。異次元3S活動は整理・整頓・清掃を徹底する物理的3S、PDCAタイムの導入など業務の効率化、計画的な遂行による業務3S、データをルールに沿って保存し検索の容易性を高めるデータ3Sの三つがあります。ソリューションビジネスは今後



# 沖縄債権回収サービス 平良 孝夫 会長

たいら・たかお 1951年生まれ、宮古島市出身、新潟大学卒。沖縄信販取締役総務部長を経て、99年沖縄債権回収サービス設立に参画。常務、専務、社長を歴任後、2017年より現職。

2019年振り返って。金融機関の不良債権が激減し、不良債権を買い取る業務が劇的に減少している業界は、非常に厳しい状況にあります。その中で弊社は比較的好調な業績を維持しています。創業から累計で4600億円の不良債権を扱っており、これがストック資産として安定的な回収源になっています。17年度から発足したソリューションビジネス部はM&A、事業承継、経営診断、コンサルや不動産ソリューションなどを事業としていますが、順調に業容を拡大しています。年間取扱高は17年度が33万円、18年度81万円、当期は予測ベースで1億7300万円と急拡大しています。19年は創業20周年で新企業理念を制定

「2019年振り返って。金融機関の不良債権が激減し、不良債権を買い取る業務が劇的に減少している業界は、非常に厳しい状況にあります。その中で弊社は比較的好調な業績を維持しています。創業から累計で4600億円の不良債権を扱っており、これがストック資産として安定的な回収源になっています。17年度から発足したソリューションビジネス部はM&A、事業承継、経営診断、コンサルや不動産ソリューションなどを事業としていますが、順調に業容を拡大しています。年間取扱高は17年度が33万円、18年度81万円、当期は予測ベースで1億7300万円と急拡大しています。19年は創業20周年で新企業理念を制定

「2019年振り返って。金融機関の不良債権が激減し、不良債権を買い取る業務が劇的に減少している業界は、非常に厳しい状況にあります。その中で弊社は比較的好調な業績を維持しています。創業から累計で4600億円の不良債権を扱っており、これがストック資産として安定的な回収源になっています。17年度から発足したソリューションビジネス部はM&A、事業承継、経営診断、コンサルや不動産ソリューションなどを事業としていますが、順調に業容を拡大しています。年間取扱高は17年度が33万円、18年度81万円、当期は予測ベースで1億7300万円と急拡大しています。19年は創業20周年で新企業理念を制定

「2019年振り返って。金融機関の不良債権が激減し、不良債権を買い取る業務が劇的に減少している業界は、非常に厳しい状況にあります。その中で弊社は比較的好調な業績を維持しています。創業から累計で4600億円の不良債権を扱っており、これがストック資産として安定的な回収源になっています。17年度から発足したソリューションビジネス部はM&A、事業承継、経営診断、コンサルや不動産ソリューションなどを事業としていますが、順調に業容を拡大しています。年間取扱高は17年度が33万円、18年度81万円、当期は予測ベースで1億7300万円と急拡大しています。19年は創業20周年で新企業理念を制定

「2019年振り返って。金融機関の不良債権が激減し、不良債権を買い取る業務が劇的に減少している業界は、非常に厳しい状況にあります。その中で弊社は比較的好調な業績を維持しています。創業から累計で4600億円の不良債権を扱っており、これがストック資産として安定的な回収源になっています。17年度から発足したソリューションビジネス部はM&A、事業承継、経営診断、コンサルや不動産ソリューションなどを事業としていますが、順調に業容を拡大しています。年間取扱高は17年度が33万円、18年度81万円、当期は予測ベースで1億7300万円と急拡大しています。19年は創業20周年で新企業理念を制定



# 沖縄債権回収サービス 平良 孝夫 会長

「昨年を振り返っていかがですか。昨年、おかげさまで創立20周年を迎えました。周年事業として、社員全員に「オリジナルかりゆしウェア」の配布、そしてホームページのリニューアルを行いました。最大の眼目は新企業理念を制定したこと

「昨年を振り返っていかがですか。昨年、おかげさまで創立20周年を迎えました。周年事業として、社員全員に「オリジナルかりゆしウェア」の配布、そしてホームページのリニューアルを行いました。最大の眼目は新企業理念を制定したこと

## 新企業理念で拓く未来

「昨年を振り返っていかがですか。昨年、おかげさまで創立20周年を迎えました。周年事業として、社員全員に「オリジナルかりゆしウェア」の配布、そしてホームページのリニューアルを行いました。最大の眼目は新企業理念を制定したこと

「昨年を振り返っていかがですか。昨年、おかげさまで創立20周年を迎えました。周年事業として、社員全員に「オリジナルかりゆしウェア」の配布、そしてホームページのリニューアルを行いました。最大の眼目は新企業理念を制定したこと

「昨年を振り返っていかがですか。昨年、おかげさまで創立20周年を迎えました。周年事業として、社員全員に「オリジナルかりゆしウェア」の配布、そしてホームページのリニューアルを行いました。最大の眼目は新企業理念を制定したこと